

幽霊列車 (1949)

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 B&W
時間 82分
初公開日 1949/08/14

【解説】
寂れた田舎駅に16名の人間が泊まる事になった。戦時中の列車事故以来、そこには深夜になると幽霊列車がやって来る。そしてその列車を見た者は命を落とすのだというのが……。人気を博したラジオドラマの映画化。バスの故障のため駅で一晩を明かすことになった乗客たちの幽霊をめぐる大騒動。喜劇役者をフィーチャーした怪談コメディで、ミステリーの要素も盛り込まれている。列車が脱線・転覆するミニチュア特撮を円谷が担当している。「あの世のお化けはもう古い／今じゃお化けもニュールック／モダンでシックでウルトラで」と歌う主題歌が楽しい。

【クレジット】
監督 野淵昶
企画 辻久一
原作 朽木綱博
脚本 小國英雄 Hideo Oguni
撮影 宮川一夫
美術 菊地修平
作詩 加戸敏
音楽 大沢寿人
特殊撮影 圓谷英二
出演 柳家金語楼 山下
花菱アチャコ 藤木
横山エンタツ Yokoyama Entatsu 石田
藤井貢 澁谷
小柴幹治 野上
伊達三郎 大川
日高澄子 京子
大伴千春 圭子
近衛敏明 新婚の夫
大美輝子 美しい令嬢
藤代鮎子 新婚の妻
羅門光三郎 驛長
志賀迺家辨慶 烏打帽の男
小松孝子 中年の女